

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果（本校）

令和5年4月18日（火）に実施された全国学力・学習状況調査（6年生）の結果の概要をお知らせします。国語・算数の2教科と、学習状況に関する調査が行われました。

1. 教科別学習状況の結果（数値は平均正答率（%）を表しています。）

教科	本校	神奈川県	全国
国語	66	66	67.2
算数	65	63	62.5

○国語の学力は、神奈川県や全国と比べて平均並みまたは平均をわずかに下回り、算数の学力は、神奈川県や全国の平均を上回る結果となりました。問題別に見てみると、国語の正答率は、選択式の問題では平均並みですが、短答式・記述式の問題は平均を下回りました。算数の正答率は、短答式は平均をやや下回りましたが、選択式・記述式は平均を上回る結果となりました。算数では、「知識・技能」「思考・判断・表現」の全ての項目が平均を上回りました。一方で、国語については、「知識・技能」は平均をやや下回り、「思考・判断・表現」の項目が平均を下回りました。また、国語・算数ともに無回答率が神奈川県や全国より高いことが本校の特徴として表れていました。正答数分布グラフを分析すると、平均点を上回る児童がやや多く、平均点をやや下回る児童が多いことが分かり、学力の二極化が顕著に表れていました。

2. 学習状況の結果（数値は「該当する」と答えた児童の割合（%）を表しています。）

調査項目	本校	神奈川県	全国
自分にはよいところがあると思う	81.9	83.5	83.5
人が困っているときは、すすんで助けている	92.8	91.3	91.0
人の役に立つ人間になりたいと思う	97.6	95.7	95.9
家で自分で計画を立てて勉強をしている	79.5	69.2	70.7
読書は好きだ	77.1	69.7	71.8
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	82.2	76.5	76.8
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う	74.7	73.7	72.5
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	83.1	73.9	75.7

- 読書が好きだと回答した児童が多くいました。その一方で、国語の思考・判断・表現の正答率が全国や県より低かったため、国語の学習への関心を高め、学習内容の定着を図っていきます。
- 「地域や社会をよりよくしたい」と地域に高い関心をもつ児童が多くいることが分かりました。総合的な学習の時間を通して、地域と関わる学習を計画していくとともに、試行錯誤をして粘り強く問題解決していく力等を伸ばしていきます。
- 自己有用感を伸ばしていくことができるように、学習や行事の充実、日々の活動の価値付け、所属感を実感できる学校・学年・学級運営をしていきます。

生活習慣・学習習慣や算数への関心等において全国平均を上回っていました。

それ以外は全国平均並みでした。（内側の実線が全国平均）

